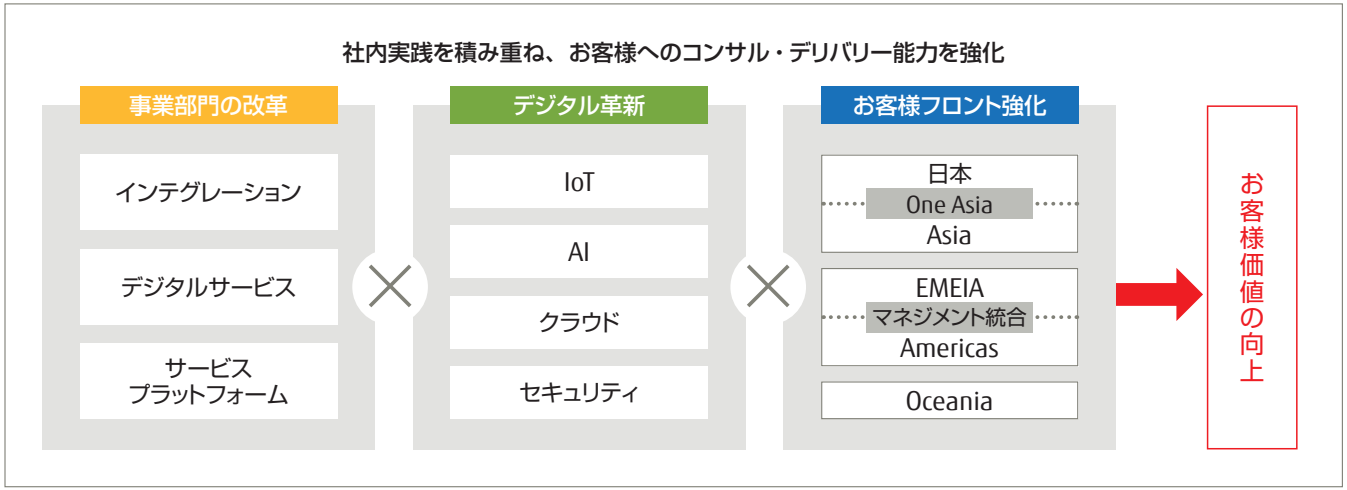
TOPICS 経営方針について

2015年10月に発表いたしました当社の経営方針について、この1年の成果と今後の取り組みについてご説明いたします。
当社は、ビジネスモデル変革を進め、テクノロジーソリューションへ経営資源を一層集中しております。
①事業部門の改革、②デジタル革新、③お客様フロントの強化によりお客様価値の向上を実現してまいります。

経営改革のマトリクス



❶事業部門の改革

サービスインテグレーションにおいては、11月に国内主要SE子会社3社を当社に統合するなど、SEリソースを結集しました。お客様の変革をリードする役割のSEリソースを結集することで、新しいデジタルビジネスやグローバル拡大を加速させます。

また、今年の4月には、デジタルサービスの強化を目指し、デジタルサービスの統合組織を新設し、社内に分散していた、IoT、AI、クラウドに関するリソースを結集しました。ネットワーク事業についても、新組織に統合しました。

サービスプラットフォーム事業でも、基盤テクノロジーのさらなる高度化を目指し、「プロセッサ開発技術」、「AI基盤技術」、「オープンソース応用技術」の3分野で、投資と開発を一層強化していきます。

❷デジタル革新

当社は、ビッグデータを中心とした「つながるサービス」の実現のために、デジタル革新の4つの要素であるIoT、AI、クラウド、セキュリティに集中的に投資していきます。

IoTの分野では、より幅広くデータや知見の蓄積を進めるため、300を超える実証プロジェクトやあらゆる業種の有力企業との連携を進めていきます。

集積されたデータを解析し、業種・業務の知と知をつなぎ合わせる役割を果たすのがAIです。当社は、当社独自のAI技術を「Human Centric AI Zinrai」として体系化しています。このAI技術の体系と長年培ってきた知見をベースに、最新のオープンイノベーションの成果も取り入れつつ、革新的なサービスを作っていきます。

IoTとAIを連携させ、当社の「FUJITSU Digital Business Platform MetaArc」のマルチクラウド上で動かすことで、新たなデジタルサービスを提供します。また、オープンソースの応用技術を取り入れた強固なクラウドで、幅広いデジタルサービスの運用を支えます。

そして、これらを守るのが高度な総合セキュリティサービスです。お客様の事業や社会全体をサイバー攻撃のリスクから守ります。

❸お客様フロント強化

日本とアジアの営業体制を統合したOne Asia体制のもと、日本の人材やソリューションをアジアビジネスの拡大に一層活用していきます。EMEIAでは、従来の国ごと・地域ごとの体制から、事業別の組織に変えていきます。さらに、EMEIAとAmericasのマネジメントを統合し、シナジーを高めながら、デジタルビジネスの強化を進めます。Oceaniaでは、政府主導でデジタル化が進んでいる中、ビジネス機会を確実に掴むとともに、経営基盤の改革を継続していきます。

用語解説

IoT（Internet of Things）：
パソコンやサーバなどに留まらず、様々な物がインターネットに接続され、情報交換する仕組み。

AI（Artificial Intelligence）：
人工知能。今後、様々な分野で活用されることが期待されている。

ビッグデータ：
大量かつ多種多様なデータのことで、それらを活用することで新たな価値を生み出すことができるとして注目されている。

EMEIA：
欧州、中東、インド、アフリカを指す。